

# 平成29年第1回高山市議会定例会 一 般 質 問

◎一般質問の順序

月 日	議 員 名	会 派 名	ページ
3月8日(水)	1. 沼津光夫 議員	高山市政クラブ	1
	2. 榎 隆司 議員	高山市政クラブ	2
	3. 渡辺甚一 議員	高山市政クラブ	3
	4. 溝端甚一郎 議員	高山市政クラブ	4
	5. 伊東寿充 議員	創政クラブ	5
	6. 谷村昭次 議員	創政クラブ	6
3月9日(木)	1. 西田 稔 議員	創政クラブ	8
	2. 車戸明良 議員	創政クラブ	9
	3. 橋本正彦 議員	創政クラブ	10
	4. 山腰恵一 議員	高山市議会公明党	11
	5. 中箴博之 議員	高山市議会公明党	12
	6. 松山篤夫 議員	無 会 派	13
3月10日(金)	1. 谷澤政司 議員	無 会 派	15
	2. 岩垣和彦 議員	無 会 派	17
	3. 上嶋希代子 議員	日本共産党高山市議団	18
	4. 牛丸尋幸 議員	日本共産党高山市議団	19

◎質問時間等については以下のとおりです。

**議員の質問のみで40分。質問回数は制限なし。**

**※ 反問に要した質問及び答弁の時間は持ち時間に含めない。**

◎一般質問の内容は次のとおり通告されています。

【沼津光夫議員】

1. 木質バイオマス発電について

- ① 広大な山林がありながら、木質バイオマス発電を計画しないのはなぜか
- ② 売電については、中部電力は買い取らないとのことだが、市内で売電することは考えられないか
- ③ 林業行政としてはどのように考えられているか
- ④ 計画次第では実施可能な事業と思われるが、今後どのように展開していくのか

2. 位置指定道路の今後の考え方について

- ① 位置指定道路の延長・面積はどのようになっているのか
- ② 過去に位置指定道路が市道認定してあるが、いつまで認定されたのか。また、その後なぜ認定されていないのか
- ③ 市道認定に伴う地方交付税の算定額はどれくらいか（延長・面積）
- ④ 位置指定道路を市道認定した場合、地方交付税の算定額はどれくらいになるのか
- ⑤ 公共施設等総合管理計画において市道の見直しも行い、位置指定道路を市道認定してはどうか

【榎 隆 司 議員】

1. 道路整備について

- ①都市計画決定されている道路整備の進捗状況は
- ②市道旅行村線の延伸の考えは
- ③無電柱化促進法成立を受けて市は推進計画を策定する考えは
- ④道路陥没の調査方法と対策状況は

2. 通学路安全プログラムについて

- ①通学路安全プログラムで計画されている通学路整備の進捗状況は
- ②通学路の合同定期点検で判明した課題についてどのように対応しているのか
- ③杉正鉄工所交差点（山田町地内）信号機設置の考えは

3. 障害者雇用率の確保について

- ①農園等で雇用することで障害者雇用率を確保する考えは

4. 放課後児童クラブについて

- ①入学児童の増加による教室増に伴い放課後児童クラブのスペース確保が困難となる状況があるが、どのように対応するのか

5. 高齢者の見守りにについて

- ①認知症に限定しない見守り対策として、高齢者に番号を付したキーホルダーを配付しては

【渡 辺 甚 一 議員】

1. 新ごみ焼却場について

- ①新ごみ焼却場建設予定地の地元である三福寺町内会では、50年余り現在地で稼働している中、条件が合えば今後30年間さらに迷惑施設を受け入れると苦渋の決断をされたが、この英断をどう捉えているのか
- ②ごみ処理施設の近隣町内会から町内環境整備について要望が出されているが、早急に取り組むべきではないか
- ③ごみ処理施設があることによって、周辺地域にはどのような影響があったと考えているのか。また、どのような対応をしたのか
- ④今年は雪が多く、ごみ処理施設の周辺道路は除雪が行き届いている状態ではなかったが、配慮はされたのか
- ⑤ごみ処理施設の周辺地域では、ごみ搬入車両からのごみの落下などが見受けられた。定期的なパトロールなど取り組むべきではないか
- ⑥新ごみ焼却施設では、排気ガス規制や環境対策をどのように考えているのか
- ⑦環境基準は現施設と新施設では基準が違うようだが、もっと厳しい独自基準とできないか
- ⑧東山台町内会では現計画に対して反対を表明したと聞いているが、今後の対応はどうするのか
- ⑨東山台町内会に近くなるのは、心情的にも負担を感じるが、部分的な変更はできないのか
- ⑩候補地発表から3年4か月経つが地元の要望も含め、建設地の決定をする時期に来ているのではないか

【溝端甚一郎 議員】

1. 高山市型コミュニティ・スクールの導入について

- ①支所地域の組織体制の進捗状況は
- ②高山地域はモデル地区を決め進められているのか
- ③学校・家庭・地域が教育における責任を自覚し役割を果たす体制づくりの確立は
- ④学校・家庭・地域が共通テーマを持った取り組みが大切では
- ⑤地域とともにある学校づくりの早期実現に向けての考えは

2. 協働のまちづくりに対する市民の意識醸成について

- ①理事会、部会等の会議に傍聴ができる広報が必要では
- ②総会は地域住民の意見交換の場にすべきでは
- ③まちづくりへの意識は単位町内会の活力から生まれると考えるが
- ④更なる協働のまちづくりを進めるため市民の意識を醸成するハンドブックの配布を
- ⑤評価、改善につながるPDCAサイクルの確立に向けた指導を
- ⑥担当職員及びまち協の役員は地域を知り、人を知る活動が重要では

3. まちづくり協議会の事務所について

- ①活動の拠点である事務所の環境は十分なのか
- ②環境が不十分な事務所の改善に対する考えは

【伊 東 寿 充 議員】

1. 文化政策について

- ①文化政策において、伝統的生活文化はどう位置づけられているのか
- ②高山市歴史的風致維持向上計画の現時点での検証と課題は
- ③文化の持続性と伝統的生活文化との関わりを重点的に捉えた維持向上計画が必要ではないか
- ④文化政策における包括的な推進・支援体制の構築、或いは専門部署の設置が必要ではないか

2. 域外資本の参入と地域産業発展のあり方について

- ①増加する域外資本の参入に対し、市はどのような方向性を定めているのか
- ②本社機能の移転を含め、地域の経済循環構造に効果的に組み入れる方策が必要ではないか
- ③中長期的な視点からも地域づくりの一員として関連団体に所属する等の条例制定が必要ではないか
- ④地域ブランド保護の観点からも民泊条例の制定が必要ではないか

3. 子どもたちを取り巻く支援体制の整備について

- ①不登校等様々な課題に対する新たな認識の共有を進め、教育・医療・福祉・家庭（地域）の総合的な連携支援体制を構築するべきではないか。また、その拠点機能はどこが担うのか

【谷 村 昭 次 議員】

1. 普通財産（土地）の売払い等処分について

- ①売払いに対する基本姿勢の考えは。また、単独の利用が困難な土地、機能を失った法定外公共物にあつては簡易な評価方法による評価価格とする考えは
- ②「未利用土地活用指針」を策定することで、透明性のある評価基準が確保され、民需が促進されると考えるが、市の見解は
- ③土地収益性の有無に関わらず「適正な時価」を基準とする考えは
- ④売払い価格は「固定資産税評価額等から一定の基準で算定する」とされるが、一定の基準とはどのような評価であるのか。さらに不動産鑑定士への評価依頼において、形状、間口などの個別格差比較以外に売却難易度などを検討することを要請されているか
- ⑤利便性向上のため行政と協働し地域の土地利用改善に貢献した経緯や事情に配慮すべき特別な縁故者等に売却する場合に「個別評価基準」を設ける考えは
- ⑥単独の利用が困難な土地又は機能を失った法定外公共物は需給関係あるいは土地形状などを考慮し、残価修正率50パーセント以下の評価を基準とすべきでは
- ⑦売払い土地の処分に関する事務要綱、売払い要綱、法定外公共物処分価格評定要領などを早期に整える必要があると考えるが、市の見解は

## 2. 市街地西部エリアでの交通需要マネジメントについて

- ①市街地西部エリアの中心にある民間大規模施設完成後の交通影響を予測すると、経路変更による市民生活等の利便性向上への取り組みが検討されるべきと考えるが、今後の対応は
- ②市街地西部エリアにおいて、計画的な交通網の指針を策定する考えは
- ③市道昭和山田線や市道中山線での交通需要の分析と予測から交差点改良、車線及び路側部の拡幅、非常駐車帯の設置などの取り組みと考えは
- ④将来的な交通需要展望の視点から、交通路線の接続分断区間（八日町や上岡本町など）の解消に向けた今後の対応と将来計画は
- ⑤交通網を充実し一つの地域で完結できない公共サービスを向上させるためにも路線接続や基幹道路構造の改良を促進し、回遊性を高める必要があると考えるが、市の見解は



【西 田 稔 議員】

1. 内環状線となる幹線道路の整備について

- ①市内交通の安全性確保や利便性向上を図るため、どのように内環状線を整備しようと考えているのか
- ②市道松之木千島線の今後の具体的な整備スケジュールは
- ③地域住民は市道松之木千島線の早期完成を待ち望んでいる。地域への説明などはどのように考えているのか

2. 幹線道路における児童生徒の安全について

- ①通学路としている歩道がない幹線道路の安全対策をどのように講じているのか
- ②降雪によりさらに危険度が増す。どのような対応をしているのか
- ③新入学児童の登下校等の安全を図るための取り組みは
- ④安全に登校するために、集団登校のあり方も含めた検討はされているのか。また学校、保護者、地域の連携のあり方をどう考えているか

3. 学校図書館の現状について

- ①文部科学省の調査結果を踏まえ、本市の現状をどう捉えているか
- ②英語教育において学校図書館をどのように活用しているのか。更なる活用は考えられないか
- ③ブックトーク学習の現状と教員の研修など活用に向けた取り組みの考えは
- ④図書とICT（情報通信技術）を両輪とした学習の現状と今後の取り組みの拡充の考えは

【車 戸 明 良 議員】

1. 新規就農者について

- ①今年度の農業販売額と今後の目標は
- ②農業従事者の推移と課題は
- ③就農体感ツアー、就農移住相談会の状況と新規就農者（親元に就農する農業後継者を含む）の実績と状況は
- ④就農支援の今後の取り組みは（品目別と地域別の課題と施策）
- ⑤繁殖牛の増頭と就農支援策は

2. 新小中学校学習指導要領について

- ①新学習指導要領についてどのように捉えているのか。どのように変わっていくのか（新しい時代とは、理念とポイントは）
- ②移行・先行実施期間を活かしどのように対応していくのか
- ③授業時間が増えることになるが、時間確保など懸念される事項への取り組みは
- ④教員の長時間労働の実態と教員を支える環境は（業務の適正化、教材や教育環境の整備）

3. 安心して学ぶ学校教育環境について

- ①不登校の現状は。どう捉え取り組んでいるのか
- ②いじめ・貧困の状況は。どう把握し取り組んでいるのか
- ③児童生徒一人ひとりへのきめ細やかな対応や、いろいろな居場所づくりが大切と考えるがどのような取り組みをしようとしているのか
- ④今後の高山市の教育への取り組みとして、何が必要であると考えているのか。また、どのように取り組んでいこうとしているのか

【橋 本 正 彦 議員】

1. 高山市公設地方卸売市場と高山卸商業センターについて

- ①老朽化に伴う整備に向けた現在の取り組み状況と、今後の取り組みについての考えは
- ②この地域を「観光ハブ拠点」として位置付けることについての考えは

2. 高山市公共施設等総合管理計画について

- ①「高山市公共施設等総合管理計画」策定に伴う現時点での「実施計画と予算の連動」についての考えは
- ②「高山市公共施設等総合管理計画」と「高山市水道事業経営戦略」との相違と、今後の「高山市水道事業経営戦略」での考えは
- ③「専門的な部署を設置し推進する」と明記されているが、どのような考えの部署なのか
- ④「ファシリティマネジメントの手法と考え方を導入」と明記されているが、導入にあたっての基本的な考えと、導入メリットの考えは

3. 今後の「高山市のまちづくり」について

- ①これからの「高山市のまちづくり」はどう進むべきと考えているのか

【山 腰 恵 一 議員】

1. 高齢ドライバーの事故防止について

- ①全国的に高齢ドライバーによる交通事故が発生している。どう捉えているか
- ②運転免許証の自主返納の推移と課題は
- ③自主返納できる環境をつくるためにも、公共交通の充実と利便性が求められるが、市の見解は
- ④高齢者の事故防止につながる安全装備のある自動車の購入に対する補助制度導入の考えは

2. 受動喫煙防止の強化について

- ①市民及び観光客等の受動喫煙による健康被害について、市の考えは
- ②市はこれまで受動喫煙防止にどう取り組んできたか
- ③飲食店等のサービス業において、屋内を禁煙とする取り組みを図るべきではないか
- ④職場における受動喫煙防止を一層図らなければならないが、市の見解は
- ⑤国際観光都市として受動喫煙防止条例を制定すべきではないか

3. へき地医療の確保について

- ①上宝・奥飛騨温泉郷地域にある歯科医院が諸事情により閉院した。今後の歯科診療確保の方向性は
- ②支所地域の将来を見据えたへき地医療の確保について、市の考えは
- ③今後の医療従事者確保について、市の考えは

【中 箴 博 之 議員】

1. 大学連携センターについて

- ①大学連携の将来ビジョンは
- ②地方創生における大学連携センターの位置づけは
- ③市の機関から独立した形とする狙いと具体的戦略は
- ④成否の鍵を握るセンターの陣容は整えられるか
- ⑤受け入れスペースの確保と環境整備の考え方は
- ⑥大学側へのアプローチの方針は
- ⑦市民への開放の考えは

2. 維持・修繕工事の随意契約について

- ①随意契約における見積り依頼のあり方は公平か
- ②施設の維持・修繕・更新において見極め判断する機能を高める必要がないか

3. 結婚支援とオリジナル婚姻届について

- ①本市の結婚をめぐる状況の把握・分析は
- ②婚活サポーターを募集・養成する考えは
- ③市独自のオリジナル婚姻届を導入しては

【松 山 篤 夫 議員】

1. 子どもの健康について

- ①ロコモティブシンドローム（運動器症候群）が増加している。運動器の機能不全は「しゃがみ込む」「走る」などの日常生活を限定し、骨折や捻挫を誘発する。文科省は学校での健康診断に運動器検診を追加。市の児童・生徒の実態と対策は
- ②視力が低い子どもが近年増え続けている。電子平面画面を長く見ていると、視力だけでなく立体的にもものを見る力も落ちてしまう。裸眼視力の実態と対策は
- ③子どもの噛む機能が未熟になっており、口周りの筋力が弱くなるという影響が近年注目されている。実態と対策は

2. 林業政策について

- ①林業経営を取り巻く環境は年々厳しくなっている。持続的な利用が可能な資源であるはずの木質資源の持続性に大きな懸念が生じている。材価が安いのに間伐補助を受けて出材を増やせばさらに材価が下がっていく。なぜ安くて利益の出ない材価なのに伐採が進むのか。市の見解は
- ②「打ち止めの伐採」という言葉があるが、市内において再造林されない割合は
- ③搬出間伐制度の問題点として丸太市況の変動に弾力的に対応するため間伐の調整が必要となるが、需給調整に対する市の見解は
- ④木材価格、特に山元立木価格が下がり続けている大きな原因は無垢材需要の減少にもある。国産材丸太価格の暴落で特筆すべきはヒノキの暴落である。その原因をどう分析しているのか
- ⑤無垢材の需要拡大のための方策は

### 3. ブランド戦略について

- ①漆芸は自然から贈られた文化遺産であり、漆は史上最強の塗料といわれている。飛騨高山ブランドとしての海外戦略は

### 4. プレミアムフライデーについて

- ①プレミアムフライデーを利用した小売業、観光業界の消費刺激策と働き方改革への市の対応は

### 5. 地元高校の活性化策について

- ①高大連携による高校の活性化と地域づくりとの連動は

【谷 澤 政 司 議員】

1. 地方創生について

- ①本市の地方創生への取り組みを国会審議で内閣総理大臣が取り上げ評価されたことに対する感想と今後の市政運営に対する考えは
- ②国土交通省が昨年10月に「地域の賑わいから得た収益を活用した道路景観の継続的な維持管理のしくみづくり社会実験」を行った。実験エリアでは、下二之町の旧越中街道を活力を呼び込むための中心軸と位置付け、上町に集中することで生じる交通混雑を解消する目的で、不動橋駐車場への誘導などを実施された。その検証結果と課題は
- ③平成27年度に計画していた古い町並境界における車両進入制限の社会実験は延期となり、また、市議会の地域別市民意見交換会においても、「中橋付近では観光客が歩行空間として橋全体を歩いて利用しており、事故が発生する危険がある。」と指摘された。こうしたことを踏まえ、今後どう取り組むのか
- ④飛騨の匠の技が日本遺産に認定され、祭り屋台行事がユネスコ無形文化遺産に登録された。下町の祭屋台会館や重要木造建築物で国の重要文化財の指定から50周年を迎えた吉島家住宅、日下部民藝館を活用し、観光地としての資質レベルを高く維持するためにどのように取り組むのか
- ⑤国土交通省「景観まちづくり刷新支援事業」の応募は、観光都市として必要な取り組みである。採択されない場合どのように取り組むのか

2. 高山市民文化会館の建設について

- ①現在の文化会館は老朽化が進んでおり、今後は観光面や、高校生や市民の強いニーズに応じるためにも、早期に新文化会館建設に取り組むべきと考えるが見解は



3. 中部縦貫自動車道等の進捗状況について

①中部縦貫自動車道・高山清見道路の高山インターから（仮称）丹生川インター間の進捗状況は

②一般国道158号の安房トンネルから長野県側においては、地震等による土砂崩れや老朽化したトンネルの崩壊による通行止めが、経済的にも大きく影響を及ぼす。

158号の道路整備の進捗状況は

【岩 垣 和 彦 議員】

1. 道路の除排雪について

- ①圧雪による凸凹の道路状況において道路管理者として市の責務をどう捉えるか
- ②除排雪の出動基準の見直しや除雪業者配置の柔軟な連携で、まとまった降雪時の除排雪作業に迅速に対応できる方法はないか
- ③人材不足などを背景に事業者にかかる負担も増大している。業界全体で除排雪に進んで協力してもらえる体制構築のために必要な施策とは

2. 観光と経済の連動について

- ①公表される観光客451万人は、実態と乖離していないか
- ②観光客数の増加が「市内経済の好循環に繋がっていない」とする感覚をどう捉え、不足しているものへの対応としてどのような対策が必要か
- ③新年度の産業連関表作成は、地域全体の経済や観光を活性するための根拠となり得る。従って、見出される課題の克服に向けた取り組みには、市内に存在する経済団体や観光団体の組織をそれぞれ集約するなど体制のあり方が議論となり得る。これらに向けた市の考えは

【上 嶋 希 代 子 議員】

1. 高齢化社会を迎えての除雪計画について

- ①除雪出動基準の新積雪深10センチメートル以上の見直しを
- ②排雪を重視した除雪計画を
- ③高齢者に配慮し、生活道路の重視を
- ④積極的に住民・業者・行政との対話を

2. 高齢者の外出支援について

- ①運転免許証自主返納者への支援を
- ②高齢者の移動手段の確保として、タクシー利用助成を

3. 国保料の負担軽減について

- ①資産税割の廃止を

【牛 丸 尋 幸 議員】

1. 新ごみ処理施設建設について

- ①「高山市は環境都市日本一を目指します」の具体的な内容・目標は
- ②ダイオキシンの排出基準が安全と言える根拠は。また、外国の排出基準は
- ③新ごみ処理施設でのプラスチック類の焼却処理方針の見直しを
- ④建設候補地周辺の地元町内会の意向は
- ⑤現在のごみ処理施設の性能保証期間は。また突発の事故、想定外の不具合などへの対応方法は

2. 小中学校の給食費について

- ①給食費の滞納状況は
- ②給食費の時効の考え方は
- ③給食費の保護者負担の軽減策を

3. マイナンバーについて

- ①番号カードの交付状況は
- ②通知カード・番号カードの再交付の方法は
- ③税関係書類におけるマイナンバーの対応状況は